

S.F.A.通信 第27号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

令和2年5月

発行：和歌山県漁業士連絡協議会

S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」と県が認定し、現在110名(令和2年3月)の漁業士が地域産業の担い手として活躍しています。

和歌山県漁業士連絡協議会

漁業士相互の交流や資質向上、連絡調整を目的に平成元年に発足した和歌山県内の漁業士で構成される組織です。

年1回の総会のほか、他県漁業士との交流会、魚食普及活動、部会単位での会合などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

～わかやま健康と食のフェスタ2019 in ねんりんピック～

令和元年11月10日(日)和歌山市の和歌山ビッグホールにおいて、毎年開催される「わかやま健康と食のフェスタ」が「ねんりんピック紀の国わかやま2019」の関連事業として開催され、本会が出展しました。今年度も水槽の中を泳ぐ海の生き物たちを見てふれあう「お魚ふれあい体験」を実施し、加太鮮魚や有田地区部会の漁業士ほかより提供していただいたサバ、アジ、エイ、サメ、イセエビ、ヒトデ、イソギンチャク、貝類等に直接ふれてもらいました。

また、和歌山市と和歌山県北部栽培漁業センター提供のタイ、イサキ、クエ、カサゴの放流用稚魚は、卓上に展示し、訪問者に紹介しました。

当日は晴天にも恵まれ、本会への訪問者数は500人を超え、盛況のうちに閉会となりました。



▲お魚タッチの様子



▲展示の様子(左から：クエ・タイ・イサキ・カサゴ)

～漁業士認定～

令和2年2月5日（水）ダイワロイネットホテルにおいて、「農業士・林業士・漁業士認定式」が開催され、以下の7名の方が漁業士に認定されました。

青年漁業士

蜂谷 泰史さん（湯浅湾漁協） 丸山 侑士さん（湯浅湾漁協）
宮崎 真さん（湯浅湾漁協） 芝田 貴洋さん（紀州日高漁協）
大川 浩司さん（和歌山東漁協）

指導漁業士

藪 新さん（和歌浦漁協） 松村 美保さん（紀州日高漁協）



▲知事、県議会議長とともに記念撮影

（後列右端から順に 丸山さん、宮崎さん、大川さん、藪さん、蜂谷さん）

～知事感謝状～

指導漁業士として永年にわたりご活躍された3名の方々に対し、知事から感謝状が贈呈されました。

知事感謝状贈呈者

中村 敏明さん（紀州日高漁協） 山本 友次さん（比井崎漁協）
土佐 愛子さん（比井崎漁協）



▲知事、県議会議長とともに記念撮影

（後列右端から順に 土佐さん、山本さん）

～魚食普及活動～

漁業士連絡協議会では、魚食普及活動に力を入れて取り組んでいます。令和元年度は部会活動も含め、計6回の魚食普及活動を実施しました。今年度は、女性連と協力して活動を実施していきたいと考えています。

令和元年度魚食普及活動一覧

実施年月日	対 象	内 容	備 考
令和元年10月17日	はまゆう支援学校 高等部2年生	漁業の話①流通、育てる漁業について 漁業の話②まき網漁業について 装着体験、しらす丼作り	まき網部会 西牟婁地区部会
令和元年10月20日	上富田町立市ノ瀬小学校 5年生	漁業の話①魚の食べ方について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会
令和元年10月31日	はまゆう支援学校 高等部1・3年生	漁業の話 まき網・一本釣り漁業について 装着体験、チリメンモンスター探し、 しらす丼作り	まき網部会 西牟婁地区部会
令和元年11月1日	御坊市立わかば保育園児	お魚タッチ、お魚教室、しらす丼試食 チリメンモンスター探し	本会
令和元年11月5日	有田川町立鳥屋城小学校 5年生	お魚タッチ、チリメンモンスター探し 漁業の話①有田地区の漁業について	有田地区部会
令和元年11月13日	御坊市立塩屋小学校5年生	お魚教室、漁港施設見学、しらす丼作り 漁業の話①日高地方の漁業について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会



▲講義の様子（市ノ瀬小学校）



▲漁業の話（塩屋小学校）



▲チリメンモンスター探し（鳥屋城小学校）



▲お魚タッチ（はまゆう支援学校）

◆◆◆ 部会情報 ◆◆◆

～～有田地区部会～～

◆鮮魚販売

令和元年11月16日（土）にかつらぎ町のかつらぎ公園グラウンドで開催された「第31回かつらぎ町産業まつり」に出店しました。底びき網で漁獲された鮮魚類やサザエなどの販売を行いました。開始前から店の前は大変混み合い、昼過ぎにはすべて完売し、大盛況に終わり、有田地区の水産物のPRになりました。



～～一本釣り部会～～



令和2年1月10日（金）に御坊市の日高振興局において、一本釣り部会の総会及び学習会を開催しました。総会では、一本釣り部会の新部会長として、紀州日高漁協南部町支所の向井委員が選任されたほか、部会規約が改正されました。

学習会では、水産試験場から「黒潮流路と漁業資源の現状」について説明を受けたあと、情報交換を行いました。

～～まき網部会～～

令和2年2月1日（土）に田辺市の漁村センターにおいて、まき網部会の総会及び研修会を開催しました。総会では、活動実績（魚食普及活動・和歌山県食育推進表彰）について報告したほか、令和2年度の部会活動計画について協議しました。

研修会では、「アジ類・サバ類資源の現状と海況」と題し、各魚種の資源状況や黒潮の離接岸等の海況と漁模様について説明を受けました。

令和2年2月17日（月）に和歌山市のホテルアバローム紀の国において、和歌山県食育推進表彰式が開催され、模型を用いた「まき網漁業の説明」、魚介類を直接触って学ぶ「お魚タッチ」などの出前事業・食育に関するまき網部会の取組が、県の農林水産業の発展に大きく貢献したとして、和歌山県食育推進表彰を受賞しました。

まき網部会より、中田部会長が出席され、和歌山県知事より表彰状が授与されました。



～～西牟婁地区部会～～



令和2年2月13日（木）に串本町の和歌山県水産試験場において、研修会を開催しました。

研修会では、海藻類（ヒロメ・ヒジキ等）について水産試験場の研究員から説明を受けた後、ヒロメの種苗生産の手法やヒジキの生態等について意見交換を行いました。

～～東牟婁地区部会～～

令和元年12月12日（木）に福岡県に視察研修を行いました。研修では「他海域におけるひき縄漁業の実態及び漁家所得向上の取組に関する勉強・情報交換」を目的に、福岡県海洋技術センター、糸島漁業協同組合を訪れ、カキや海藻の養殖、サワラひき縄漁業、カキ小屋・直売所の運営について学びました。



お問い合わせ先 和歌山県漁業士連絡協議会事務局
和歌山県漁業協同組合連合会 総務指導課 浦崎・岩崎
TEL 073-431-5101 FAX 073-422-1137
E-mail wk-shido@wkygyoren.jf-net.ne.jp

◆◆◆ われら漁業士 ◆◆◆

～仲間と取組む漁業を次世代へ～

和歌山南漁業協同組合

指導漁業士 田ノ岡 誉将



平成30年度、指導漁業士に認定されました和歌山南漁業協同組合所属の田ノ岡誉将（たのおか たかまさ）です。青年漁業士時に入会し、まき網部会で活動しています。

私は、高校を卒業してから会社員として県外で働く中、23歳の時に父が経営する株式会社土佐丸（田辺市）から誘いがあり、漁業者の道を進む事になりました。漁師を始めてからは、まき網漁業一筋で日々精進しています。

現在は、土佐丸の船団長として、現場における一連作業の指揮をとるほか、一役員として、経営にも携わっています。

近年は、少子高齢化等の影響もあり、地元漁業者の数も年々減ってきています。私の入社当初に比べると、まき網漁業に携わる人も少なくなっていると感じ、今後の水産業を思うと、できるだけ多くの若い方々に漁業の世界へ足を踏み入れて欲しいと切に願います。

また、まき網漁業に限らず、水産業が抱える様々な課題や取組みについて、皆様からご教示いただければと思いますので、今後ともよろしく願います。

有田地域の近年のシラス漁と漁業者の取り組み

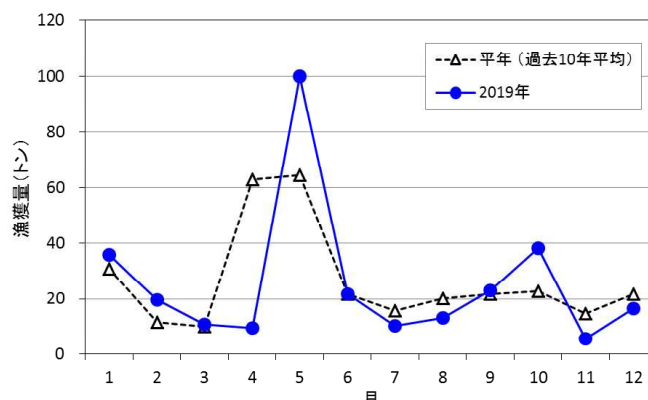
有田振興局 小林普及指導員

有田地域では、瀬戸内海機船船びき網漁業が盛んに行われており、シラスはこの地域の重要な水産資源となっています。有田管内のシラス漁獲量は、2006 年以降増減しながらも概ね横ばいで推移しており、2018 年は不漁となりましたが、直近年の 2019 年の漁獲量は、5 月が平年を大きく上回り、夏季以降も 12 月まで継続してシラスが漁獲され、平年並みとなりました。近年は、春季のシラスの主体となるカタクチイワシ太平洋系群の資源状態が低位・減少であることや、黒潮大蛇行に伴って紀伊水道への暖水流入が減少していることから、春季に太平洋側から移送されてくるシラスが少ないことや、盛漁期である 4 月に入っても漁獲が増えてこないことが懸念されています。一方で、マイワシ太平洋系群が増加傾向にありますので、今後は春季にマイワシシラスの漁獲が増え、カタクチシラスの減少を補ってくれることを期待しています。

有田地域を含む和歌山県の瀬戸内海機船船びき網漁業者は、こうしたシラスの資源変動に対応するため、毎週水・日曜日を休漁日とする資源管理計画を定め、自主的な資源管理に取り組んでいます。さらに、2018 年からは、これまで日の出から日没まで自由に行っていた操業から、午前中のみでの操業とし、操業時間を大幅に短縮することでシラスへの漁獲圧を下げる取り組みも行っています。また、有田箕島漁協ではシラスの付加価値向上のためにマリンエコラベル認証の取得を進めており、湯浅湾漁協では生しらすの安定供給、販路拡大のために CAS 凍結した生しらすの製造（CAS 凍結は外部委託）、販売を行っています。このほか、漁業士連絡協議会有田地区部会や漁協青年部を中心に有田地域内外のイベントに出展し、シラスやタチウオ等の有田地区の水産物 PR 活動を行っています。こうした取り組みを継続し、今後も有田地域の漁業を発展させられるよう、漁業者と共に頑張っていければと考えています。



市場に水揚げされたシラス



有田管内標本漁協のシラス漁獲量
(水産試験場よりデータ提供)